

## 白山コミュニティセンターが落成 地域住民の憩いの場復活へ

3月25日、豊間根の白山地区で白山コミュニティセンターの落成式が行われました。式には地域住民など約50人が出席。地域の新たな憩いの場の完成を喜びました。県道のルート変更により新たな場所へ移転となった同施設は、地元の方々の協力もあり、移転前と同じ建坪で新設。バリアフリー化が図られ、どの世代にも使いやすい施設になっています。白山地区自治会長の佐々木隆義さんは「地域住民だけではなく、広く皆さんに利用してもらいたい」と多くの方に親しまれる施設になることを願いました。



## 大浦小児童が地元の農業学ぶ シイタケ植菌・収穫を体験

4月10日、大浦小学校（佐藤あい子校長）の3・4年生4人が、シイタケの植菌と収穫を体験しました。これは、地元農業について学んでもらおうと行われたもの。講師は大浦のシイタケ生産者・阿部豊美さん（71）です。児童たちは「しっかり育てばいいな」と一つ一つ丁寧に植菌していきました。その後は、2年前に先輩が植菌したシイタケを収穫。児童たちは、立派に育ったシイタケに驚きを見せ、植菌・収穫という貴重な体験を通して、地元農業についての理解を深めていました。

## 各小学校で交通安全教室 大沢小児童交通ルール学ぶ

春の交通安全運動に合わせて、町内の各小学校では交通指導隊（佐々木正彦隊長）による、交通安全教室が行われました。4月16日には、大沢小学校（及川輝美校長）の児童66人が参加。横断歩道の渡り方、信号の色の意味、道路での自転車の乗り方などを教わりました。入学したばかりの1年生は、教えられたとおり「右を見て、左を見て、もう一度右を見て」と手を上げながら大きな声で確認。福土悠さん（2年）は「今日学んだことを生かして登下校したいです」と感想を話していました。



## 長寿祝い金を贈呈 中山トメさん100歳迎える

4月8日、100歳を迎えた中山トメさんに長寿祝い金が贈呈されました。入所する平安荘では当日、100歳を祝う会が開かれ、ご家族を初め、入所者、職員などが中山さんの長寿を祝福しました。中山さんは、8人兄弟の末っ子として宮古市津軽石で生を受け、結婚後に織笠へ嫁いできました。海苔の行商を行っていた中山さん。また、ホタテの養殖の手伝いや、暇があれば庭の草取りをするなど、休みなく働いていた印象があったと、お孫さんは話します。中山トメさん、本当におめでとうございます。



# 町のわだい

今月の題字 坂本 <sup>たける</sup>長琉君 (轟木小4年)



## 新しく始まる学校生活 荒川小で入学式行われる

始まりの季節、4月。町内各地では、入園式、入学式が行われました。9日には、荒川小学校（大坊隆校長）に男子4名、女子4名の計8名が入学し、9年間の義務教育がスタート。式で、大坊校長が「入学おめでとう。友達と一緒に勉強と運動をがんばってください」とあいさつすると、新入生は「はい！」と元気に答えていました。続いて、齋藤光義PTA会長から新入生に入学を記念した黄色い帽子が手渡されると、うれしそうに笑う新入生。また、2年生のお兄さん、お姉さんがピアノの演奏と縄跳びを披露すると、大きな拍手を送っていました。



## 苗木の植え替えや花見を楽しむ 桜の成長をみる会へ約60人

4月15日、船越家族旅行村で桜の成長をみる会が行われました。これは震災後、ボランティアによって「復興さくらの丘」に植えられた824本の桜の苗木の成長を観察するとともに、桜を守り育てて行くことを目的に行われたもので、約60人が参加。遊歩道の散策をしながら桜の成長を確かめていました。また、さくらの丘に植えられた苗木の中には弱ってしまったものもあり、町内外から訪れたボランティア27人によって、苗木の植え替え作業も行われました。散策や植え替え作業後にはお茶と和菓子が振る舞われ、お花見を楽しんでいました。

